

23代目県教育委員長に就任した

比嘉 梨香さん



### 「地域の宝」育てる



「地域の宝を探すことと、子どもたちの中にある種を探すことは一緒だと思う。どう磨いて育てていくか」。復帰後、二十三代目となる県教育委員長に就任した。教育界に身を置いた経験はな

いが、十数年かかわってきたエコツアーリズムや地域振興を通して、子どもたちが一瞬にして変わる状況を何度も目の当たりにしてきた。地域の魅力を掘り起こし、発信し続けてきた情熱は、子ども

たちが生きゆく未来に対する責任感でもある。何よりも大切にしているのは人と人とのつながり。「連携なくして地域振興はない。教育も同じ。家庭、学校、行政、地域、関係機関など、思いを持っている人たちの力をどう借りるかだ。開かれた教育委員会にした」と力を込める。

原則公開である教育委員会を傍聴する人が少ないことにも着目。「移動教育委員会を地域で開けないか。教育にかかわる

最近は休日もないほど多忙な毎日。リフレッシュ法は人との語りごと、美しい風景に心を震わせること。「不安もあるが、明るく元気に進みたい。楽しくないと続かないし、何も変わらない。きっかけをつくれれば子どもたちは夢を持って、自らの足で歩んでいける。いかに大人が応援できる環境をつくっていくかだ」。夫は沖縄都市モノレール社長の比嘉良雄さん。大学生の娘がいる。四十九歳。ビジネスネームは開梨香。(24面に関連)

